

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404
FAX 984-4011

11月9日は「119番の日」 「慌てず」「はっきり」「正確」に

消防庁は、皆さんの防火・防災意識を高め、地域ぐるみの防災体制を確立することを目的に、昭和62年から11月9日を「119番の日」としています。

いざというときに落ち着いて通報できるよう、正しい「119番」のかけ方を確認しましょう。

▶ 通報するときのポイント

① 通報は慌てず落ち着いて

消防（救急）隊が迅速に現場へ到着するには、住所や災害内容の正確な情報が必要です。通信員に聞かれた内容に、正確・簡潔に答えましょう。

※ 119番通報は、伊予市にある消防本部通信指令室で受け付けし、管轄の消防署に出動指令を出しています。すでに消防（救急）隊員は現場に向かっているため、電話を早く切ったとしても、早く到着するわけではありません。落ち着いて正確な情報を伝えましょう。



② 応急処置に協力を

状況によって、応急処置や避難誘導をお願いすることがあります。特に、意識・呼吸がない場合には、救急隊が到着するまでの応急処置がとて重要で、処置の方法は通信員が伝えますので、落ち着いて処置を行ってください。

▶ 携帯電話で通報するときは

◎ どの町から通報しているかを伝える。

携帯電話で通報した場合、場所によっては松山市などの消防本部につながる場合があります。まず、どの町から通報しているのかを伝えましょう。

◎ 運転しながら通報しない。

自動車などを運転しながらの通報は、大変危険です。走行中に火災や事故を発見した場合は、安全な場所に停車してから通報しましょう。

▶ 高速道路やトンネルでは

93

高速道路やトンネルなどでは、現場の位置を正確に伝えることが難しいので、道路脇に設置してある「キロポスト」を伝えましょう。

通報時によくある要望

「救急車のサイレンを鳴らさずに来てほしい」

救急車は緊急自動車です。道路交通法により、サイレンを鳴らさなければなりません。傷病者の苦痛軽減と救命を最優先に出動していますので、ご理解ください。

News

令和3年度全国統一防火標語

おうち時間 家族で点検 火の始末

11月9日④から15日⑤までの7日間、全国一斉に秋季火災予防運動が行われます。この運動は、火災が発生しやすい季節を迎え、予防の意識を高めることで発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生や財産の損失を防ぐことを目的としています。

